



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月10日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ

上場取引所 東

コード番号 1384 URL <http://www.hokuryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画部長 (氏名) 進藤 正紀

TEL 011-812-1131

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	3,178		71		87		111	
2018年3月期第1四半期	3,995	4.8	573	74.2	590	68.3	386	69.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 132百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 406百万円 (58.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	13.18	
2018年3月期第1四半期	45.66	

(注) 当社は前連結会計年度(2018年3月期)より決算日を8月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、2018年3月期第1四半期連結累計期間(2017年9月1日から2017年11月30日)と2019年3月期第1四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年6月30日)とは対象期間が異なるため、前年同四半期との増減比較については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	13,533	8,876	65.6
2018年3月期	14,963	8,871	59.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 8,876百万円 2018年3月期 8,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		15.00	15.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,620		553		614		449		53.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期は、決算期変更に伴い7ヶ月(2017年9月1日から2018年3月31日)決算となっております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	8,459,000 株	2018年3月期	8,459,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	株	2018年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	8,459,000 株	2018年3月期1Q	8,459,000 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は前連結会計年度（2018年3月期）より決算日を8月31日から3月31日に変更しております。これにより前連結会計年度は2017年9月1日から2018年3月31日までの7ヶ月決算となっております。

このため、2018年3月期第1四半期連結累計期間（2017年9月1日から2017年11月30日）と2019年3月期第1四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年6月30日）とは対象期間が異なるため、前年同四半期との増減比較については記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の拡大や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら一方で、米国などの保護主義的な通商政策の動向や、地政学的リスクなど、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

鶏卵業界におきましては、昨年秋頃から鶏卵相場が前年比下振れで推移する状況になり、当第1四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年6月30日）における鶏卵相場の北海道Mサイズ平均は1キロ174円66銭（前年同期間比41円81銭安）、東京Mサイズ平均は1キロ169円74銭（同43円31銭安）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,178,927千円、営業利益は71,472千円、経常利益は87,634千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は111,481千円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業は報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べて1,430,174千円減少し13,533,250千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べて926,434千円減少し4,203,242千円となりました。これは、主として法人税等の支払により現金及び預金が690,805千円減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて503,739千円減少し9,330,007千円となりました。これは、主として畜肉販売等の食品事業をエスフーズ北海道株式会社へ承継したこと及び減価償却等により建物及び構築物が305,250千円、機械装置及び運搬具が101,820千円、土地が195,636千円減少したこと等によるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べて1,435,326千円減少し4,656,995千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて1,271,141千円減少し2,520,937千円となりました。これは、主としてエスフーズ北海道株式会社からの譲渡代金の振替等により流動負債その他が874,090千円減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて164,185千円減少し2,136,058千円となりました。これは、主として借入返済により長期借入金が105,027千円減少したこと等によるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べて5,152千円増加し8,876,254千円となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益111,481千円を計上したものの配当金126,885千円を支払ったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,135,528	2,444,722
受取手形及び売掛金	1,682,958	1,438,718
商品及び製品	102,803	64,634
仕掛品	13,649	13,921
原材料及び貯蔵品	121,436	124,825
その他	76,672	119,312
貸倒引当金	△3,371	△2,892
流動資産合計	5,129,677	4,203,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,097,978	5,792,727
機械装置及び運搬具（純額）	1,531,375	1,429,555
土地	1,293,533	1,097,897
その他（純額）	114,894	136,085
有形固定資産合計	9,037,781	8,456,265
無形固定資産	56,478	50,308
投資その他の資産		
投資有価証券	510,666	541,325
その他	233,572	287,189
貸倒引当金	△4,751	△5,080
投資その他の資産合計	739,487	823,433
固定資産合計	9,833,747	9,330,007
資産合計	14,963,424	13,533,250
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,027,257	901,338
電子記録債務	214,386	293,539
短期借入金	130,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	443,874	438,849
未払法人税等	351,922	106,554
賞与引当金	116,000	48,108
役員賞与引当金	32,000	—
その他	1,476,638	602,547
流動負債合計	3,792,078	2,520,937
固定負債		
長期借入金	1,984,395	1,879,368
退職給付に係る負債	151,561	110,633
役員退職慰労引当金	82,330	73,067
その他	81,957	72,989
固定負債合計	2,300,243	2,136,058
負債合計	6,092,322	4,656,995

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,055,000	1,055,000
資本剰余金	754,215	754,215
利益剰余金	6,924,294	6,908,890
株主資本合計	8,733,509	8,718,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,593	158,149
その他の包括利益累計額合計	137,593	158,149
純資産合計	8,871,102	8,876,254
負債純資産合計	14,963,424	13,533,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	3,995,694	3,178,927
売上原価	2,860,314	2,684,495
売上総利益	1,135,379	494,432
販売費及び一般管理費	561,527	422,959
営業利益	573,851	71,472
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1,353	4,401
仕入割引	4,417	4,690
受取賃貸料	9,419	9,824
その他	8,138	2,714
営業外収益合計	23,328	21,631
営業外費用		
支払利息	2,236	1,645
賃貸費用	3,987	3,751
その他	0	73
営業外費用合計	6,223	5,469
経常利益	590,956	87,634
特別利益		
固定資産売却益	46	—
事業譲渡益	—	87,193
特別利益合計	46	87,193
特別損失		
固定資産売却損	99	—
固定資産除却損	12,564	245
特別損失合計	12,664	245
税金等調整前四半期純利益	578,339	174,582
法人税、住民税及び事業税	192,082	63,101
法人税等合計	192,082	63,101
四半期純利益	386,257	111,481
親会社株主に帰属する四半期純利益	386,257	111,481

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	386,257	111,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,036	20,556
その他の包括利益合計	20,036	20,556
四半期包括利益	406,293	132,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	406,293	132,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年9月1日 至 2017年11月30日）

「II 当第1四半期連結累計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

当社グループは、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、当社グループは「鶏卵事業」と「食品事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「鶏卵事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「食品事業」を吸収分割の方法によりエスフーズ北海道株式会社へ承継したことによるものです。

この変更により、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。